

非公開企業会計基準改善会議の 設置計画

米国財務会計基準審議会 (FASB) 国際研究員

かわにし やすのぶ
川西 安喜

はじめに

2011年10月4日、米国財務会計基準審議会 (FASB) の母体組織である米国財務会計財団 (FAF) の評議員会は、コメント募集「非公開企業会計基準改善会議を設置する計画」(以下「本文書」という。)を公表した。FAFの評議員会は、本文書において、非公開企業のための会計基準設定プロセスを改善するために非公開企業会計基準改善会議 (PCSIC) を設置することを提案しており、この提案についての市場関係者からのコメントを募集している。コメント期限は2012年1月14日である。

本稿では、本文書について解説する。FASBのボード・メンバーやスタッフが、個人の見解を表明することは奨励されており、本稿では、筆者個人の見解が表明されている。会計上の問題に関するFASBの公式見解は、厳正なデュー・プロセス、審議を経たものに限られている。

ブルー・リボン・パネルの提案

2009年、FAFの評議員会は、米国公認会計士協会 (AICPA) と全米州政府会計審議会連合会 (NASBA) と共同で、非公開企業のための

会計基準設定に関するブルー・リボン・パネル (以下「ブルー・リボン・パネル」という。)を設置した。ブルー・リボン・パネルは、非公開企業の財務諸表の利用者のニーズを調査し、どのようにすれば会計基準設定プロセスがそのニーズを満たすのかについてFAFの評議員会に提案を行う責任を負った。

2011年1月、ブルー・リボン・パネルは、FAFの評議員会に対し、提案を記した報告書を提出した。その報告書では、非公開企業のための米国会計基準に対する例外又は修正を行うための、FAFの監督下に置かれた、新しい別個の権威ある会計基準設定主体の設立が提案された。

別個の会計基準設定主体を否定する理由

このブルー・リボン・パネルの提案と、FAFの評議員会が行ったアウトリーチ活動の結果として、本文書は、別個の会計基準設定主体を設立するのではなく、PCSICを設置することを提案している。その主な理由は、次のとおりである。

- 2つの会計基準の体系 (非公式には大GAAPと小GAAPと呼ばれている。) を設けることは望ましいことではない。別個の会計基準設

定主体を設置することは、時間をかけてその方向に進むことになる。

- 非公開企業に対する米国会計基準の複雑性と関連性に関して FAF の評議員会に伝えられた懸念は、特定の重要な会計基準に関連しており、これらの会計基準に着目して会計基準の改善を進めればよい。
- 非公開企業の関係者が有する懸念は、非公開企業以外の関係者も共有していることが多いことから、すべての企業に共通して対処すべきである。
- FASB は、最近、非公開企業のための会計基準の開発に関連して、運営上及び組織上の変更を行っており、これらの変更の成果が出るために一定の期間、様子を見るべきである。

非公開企業会計基準改善会議の概要

(1) 権威と重要な責任

PCASIC は、非公開企業の財務諸表の利用者のニーズに応えるために、米国会計基準に対して例外又は修正を設けることが必要であるのかを決定する。

この点に関連して、PCASIC は次の重要な責任を負うことになる。

- PCASIC は、FASB と共同で、非公開企業について米国会計基準に対する例外又は修正が正当化されることがあるのか、あるとすればそれはどのような場合かを判断するための具体的な規準を開発する。
- これらの規準に基づき、PCASIC はそのメンバーが非公開企業のために例外又は修正が必要であると考えている、既存の米国会計基準の内容を識別する。
- このプロセスを通じて識別された米国会計基準の領域のうち、FASB のテクニカル・アジェンダにおいて活発に再検討されていないもの

について、PCASIC は幅広く関係者からインプットを入手し、FASB のボード・メンバーが出席する会議において、非公開企業の財務諸表の利用者のニーズを満たすことを確実にならしめるために、会計基準に対する具体的な変更について審議し、議決する。

- 既存の米国会計基準に対する変更案については、すべて、FASB による承認と、一般からのコメント募集を含む徹底したデュー・プロセスが必要となる。
- コメント期限到来後、PCASIC は、FASB のボード・メンバーが出席する公開の会議において提案された例外又は修正を再審議し、最終的な変更について議決する。変更に当たっては、PCASIC のメンバーの絶対過半数（3分の2）の賛成が必要である。PCASIC の賛成が得られた場合、最終的な変更は FASB による最終的な承認のために FASB に提出される。
- FASB のテクニカル・アジェンダにおいて活発に再検討されている項目について、PCASIC は、FASB のボード・メンバー及びスタッフと活発かつ緊密に作業すること、また、FASB の審議において FASB のボード・メンバーが検討するための助言を行うことにより、非公開企業のための適切な取扱いについて助言する主たるソースとなる。さらに、PCASIC は、FASB が活発に再検討している論点に関連して、非公開企業のための適切な取扱いについて特定の立場をとるために投票できることになる。

(2) 構成とメンバー

PCASIC の議長は、FAF の評議員会により指名されるが、キャリアにおいて非公開企業について十分な経験とエクスポージャーを有する FASB のボード・メンバーが務めることになる。FAF の評議員会は、FASB のボード・メンバーを PCASIC の議長に指名し、FASB のボード・

メンバー全員が PCSIC の会議に出席することにより、PC SIC と FASB の間に強力かつ直接的な連繋が生まれ、PC SIC があげる非公開企業の論点について、FASB によく聞いてもらえることになる。

PC SIC の議長は PC SIC の議決権を有することになる。その他の FASB のボード・メンバーは議決権を有さないものの、審議されている論点について見解を述べる事が期待されている。

PC SIC は、議長のほかに、非公開企業の財務諸表の利用、作成、及び監査について十分な経験を有する利用者、作成者、及び実務家を含む、11 人から 15 人のメンバーにより構成される。PC SIC のメンバーは FAF の評議員会により指名される。PC SIC のメンバーの候補者については、幅広く関心のある関係者から募ることになる。メンバーの当初の任期は 3 年であり、PC SIC の議長と FASB の議長からのインプットに基づき、1 年間の延長が 2 回まで認められる（したがって、任期は最長で 5 年となる）。PC SIC の適切な継続性を確保ならしめるために、メンバーの任期は必ずして設定することになる。

FASB のリソースを活用し、作業の重複を避けるため、アウトリーチ及び研究プロジェクトにおいて PC SIC をサポートし、緊密に作業するために、FASB のスタッフを割り当てる予定である。

(3) 会 議

PC SIC は、年に 4 回から 6 回の会議を予定することになる。会議は、FASB のボード・メンバーが全員出席できるように、コネチカット州ノーウォークにある FASB において開催することになる。FASB のボード・メンバーによる参加は、PC SIC のメンバーの見解の理解を促進し、承認プロセスを効率化することになる。

PC SIC の会議はウェブ配信し、一般に公開

することになる。ただし、管理的な性質の議論については、非公開で行うことがある。

(4) 監 督

PC SIC は、当初 3 年間は、FAF の非公開企業レビュー委員会に対して、直接、定期的に報告書を提出し、評議員会全体に対しては四半期ごとに書面による報告書を提出する予定である。3 年間の移行期間満了後は、PC SIC は、FAF の会計基準設定プロセス監督委員会に対して、直接、報告書を提出し、評議員会全体に対しては、引き続き、四半期ごとに書面による報告書を提出する予定である。

FAF の（会計基準の）導入後の見直し（PIR）プロセスは、現在の設計の下では、非公開企業の関与と非公開企業からのインプットを含んでいる。PC SIC からのインプットと、PC SIC の作業の結果として米国会計基準に対して行った変更に対する導入後の評価を含めることにより、PIR プロセスはさらに拡充される。この評価の目的は、公表された会計基準が意図した目的を達成したかどうかを検討することにある。

上記の監督に加え、FAF の評議員会は、PC SIC の使命が果たされているかどうか、また、非公開企業のための会計基準設定プロセスをさらに変更する必要があるかどうかを判断するため、3 年後に総合的な評価を行う予定である。

おわりに

PC SIC の設置に関する提案は、コメント期限到来後、寄せられたコメントを踏まえて FAF の評議員会により再審議される予定である。

なお、FASB は、公開の営利企業と非公開の営利企業のほかに、非営利組織の会計基準を開

発する責任を有しているが、非営利組織の財務諸表の利用者のニーズと、非公開の営利企業の財務諸表の利用者のニーズは著しく異なるため、本文書の対象となっていない。非営利組織の会計基準の改善に関しては、2011年10月3日、非営利諮問委員会（NAC）が、非営利組織が寄付者その他の利害関係者に対してその財政をより良く報告し、説明することを可能にする会計基準の変更を提案している。この提案は、公式にFASBのアジェンダに追加する要望書という形でFASBの議長に提出され、2011年11月9日、FASBの議長は、会計基準を開発するためのプロジェクトと研究プロジェクトをFASBのアジェンダに追加したことを発表している。

[参考文献]

Financial Accounting Foundation, Board of Trustees, *Request for Comment “Plan to Establish the Private Company Standards Improvement Council,”* October 4, 2011.